

企業年金連合会の 投資教育サービスについて



企業年金連合会
私的年金制度普及事業室

近藤 直人

本講義のおおまかなメニュー

1. 企業年金連合会が行う投資教育について
2. 投資教育の効果測定について
3. 今後の事業のご案内について（令和5年度）



1. 企業年金連合会が行う投資教育について



連合会が実施する投資教育の基本方針（令和3年2月制定）

確定拠出年金の加入者等（加入者、運用指図者に加え、加入検討中の者を含む）が、制度を通じて適切に老後の資産形成を行っていくためには、資産形成に必要な知識を持ち、**自らのライフプランを踏まえて具体的に行動していくことが不可欠**である。事業主及び国民年金基金連合会の委託を受けて加入者等へ教育を行う企業年金連合会は、**確定拠出年金法や法令解釈通知の内容を十分に踏まえるとともに、次の基本方針に基づいて教育を行う。**

1. 加入者等の利益のための教育を行う

加入者等の利益を第一に考え、**中立・公正な観点**からコンテンツを作成し、提供する。

2. 基本的な知識を必要とする加入者等を主な対象とする

全ての加入者等が確定拠出年金を通じた老後の資産形成に関心を持ち、かつ、制度を活用できるように、**基本的な知識を必要としている加入者等を主な対象**とする。

3. 確定拠出年金の理解を一層深めるための内容を取り入れる

コンテンツ作成にあたっては、基本的な知識に加え、**制度の理解を一層深めるために次の項目を取り入れる。**

- ①**金融リテラシーの向上**を目指すこと
- ②**ライフプラン全体**の中で確定拠出年金を位置付けて考えること
- ③長期・積立・分散投資の考え方のほか、**コスト**にも留意した資産運用の重要性

4. 老後の資産形成のための行動につながる教育を行う

加入者等が習得した知識に基づいて、**老後の資産形成のための具体的な行動を起こすことにつながる**コンテンツを作成し、提供する。そのために、加入者等が老後の資産形成を「**自分ごと**」であると**気づき、行動するための工夫**を行う。

5. 効果の測定に努め、コンテンツの見直しを行う

コンテンツに対する加入者等の理解度と教育の**効果について把握するよう努め**、コンテンツの見直しを行う。

なお、確定拠出年金に関わる事業主が効果的な教育を実施し、また加入者等に対して必要な情報提供をするためには、担当者の自己研鑽、スキルアップと情報収集が重要であり、企業年金連合会として、**担当者を支援するための研修や公開セミナー等を通じた情報提供を行う。**

連合会の投資教育サービスの概要

- (1) 企業型確定拠出年金の実施事業主からの委託（契約）を受け、加入者等に対する投資教育を実施
- (2) 国民年金基金連合会からの委託（契約）を受け、iDeCo加入者等に対する投資教育を実施

(1) 企業型確定拠出年金の加入者等に対する投資教育

- 平成28年6月公布の法律改正により、投資教育の実施が難しい中小企業等の事業主を主な対象として、事業主からの委託を受けることで投資教育の実施が可能に。翌29年度から投資教育サービスを開始。
- 令和5年度は、ライブ配信セミナーを内容の改善に努めながら、年代別に計8回実施予定。eラーニングについては引き続き利用促進を図る。

企業型DC向け投資教育のメニュー		
eラーニング	ライブ配信セミナー	講師派遣

(2) iDeCo加入者等に対する投資教育

- 令和2年6月公布の法律改正により、国民年金基金連合会からの委託を受けることで投資教育の実施が可能に。翌3年12月に「動画で学ぶiDeCo特設サイト」を公開するなど投資教育サービスを開始。
- 令和5年度は国民年金基金連合会等と連携し、eラーニングの利用促進を図るとともに、ライブ配信セミナーを計3回実施予定。



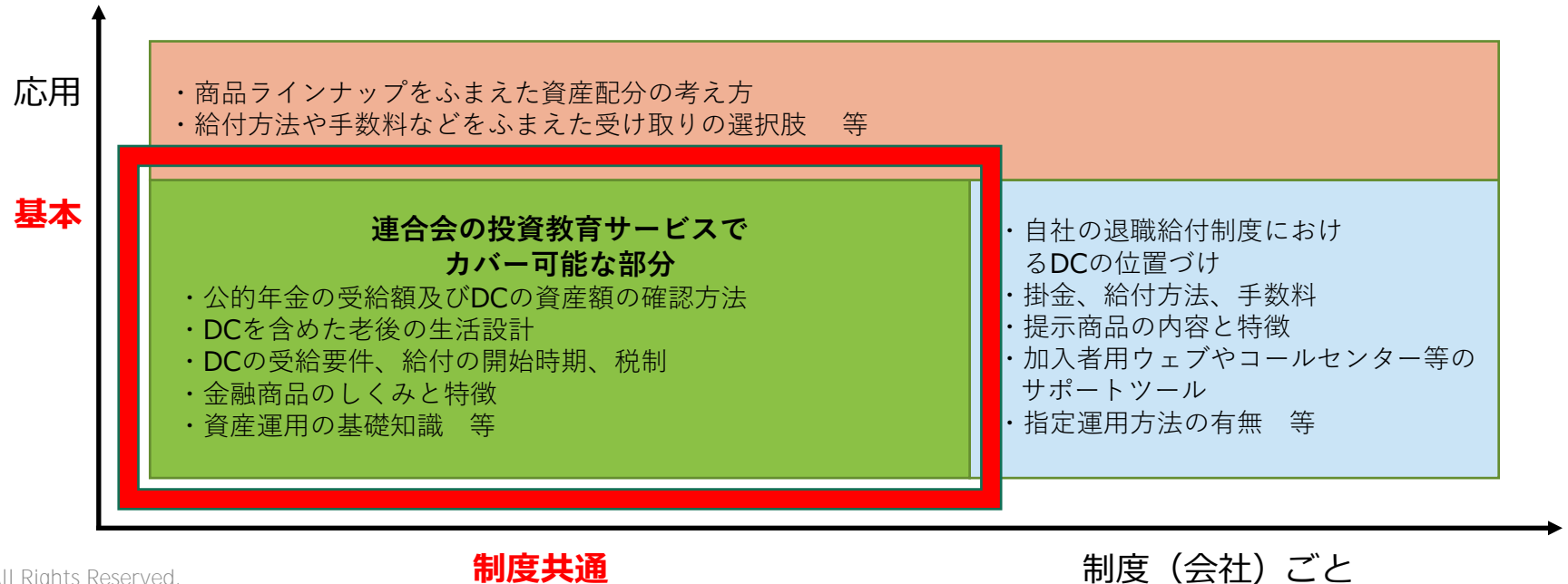
連合会の投資教育サービスの位置づけ

Q「企業年金連合会に投資教育を委託すれば、事業主として努力義務を果たしたことになるのですか？」

A

- ①企業年金連合会の投資教育サービスは、複数の事業主から委託を受けて、制度（会社）の異なる加入者に対して共通の投資教育を行う共同実施の形態となっている。
- ②制度（会社）ごとに異なる運用商品ラインナップや給付方法に応じた説明、手続きに関する具体的な説明などは難しく、基本的かつ汎用的な内容となる。
- ③基本的な内容でかつ、制度共通な部分は企業年金連合会への委託でカバーできるが、制度（会社）ごとに異なる内容や応用的な内容については、事業主ご自身でご対応いただく必要がある。

投資教育サービスの位置づけイメージ図



令和4年度の投資教育サービスの実績（企業型DC加入者向け）

(1) 契約社数（2/16現在）

402社（うち、eラーニング契約社数 368社）

	実施方法	料金（消費税込）
eラーニング	パソコンやスマートフォンでeラーニングコンテンツを視聴 PDF 年代別コンテンツの詳細(PDF形式/808KB) ▶ サンプル動画	年間3,000円/社
ライブ配信セミナー	パソコンやスマートフォンからライブ配信のセミナーに参加	無料
講師派遣	連合会から講師を派遣し、対面・Webでセミナー実施	(一般料金) 40,000円/回 (会員料金) 32,000円/回

・年間50件
ぐらいつつ増加

・最近では会員以外
からも問い合わせが



(2) ライブ配信セミナー（令和4年度実績 2/16現在）

- ①40歳代までの方向け 4回開催 申込658人、参加416人、見逃し配信279回
- ②50歳代以上の方向け 4回開催 申込816人、参加552人、見逃し配信338回（3回分）
- ③講師派遣 8回開催（3社） 参加約2,100人

令和4年度の投資教育サービスの実績（iDeCo加入者等向け）

(1) ライブ配信セミナー（令和4年度実績 2/16現在）

- ①8月27日（土）13時～ 申込795人、参加408人、見逃し配信319回
- ②11月30日（水）19時～ 申込386人、参加195人、見逃し配信197回
- ③3月3日（金）19時～開催予定 申込499人

(2) eラーニングの視聴回数等（令和4年4月～令和5年1月）

- ①iDeCo特設サイト閲覧数 79,103回
※iDeCo特設サイトは連合会が行うiDeCo用投資教育の特設サイトのこと
- ②eラーニング動画視聴回数 22,592回



2. 投資教育の効果測定について



投資教育の効果測定 (1)

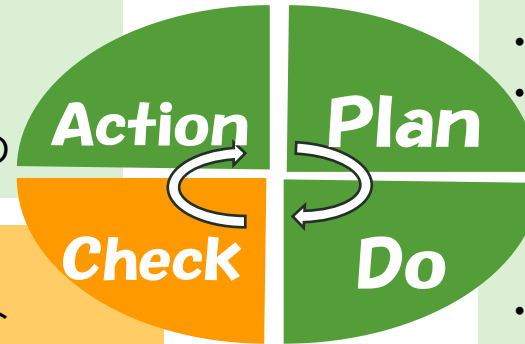
(1) 企業型確定拠出年金の加入者等に対する投資教育



ここが
効果測定

- ・ 課題、目標の達成
- ・ 次回の改善点
- ・ 長期的にめざすもの

- ・ セミナーアンケート
- ・ eラーニング試験結果
- ・ 個別相談でわかった本音



- ・ 加入者の実態を知る
- ・ 今の課題は何か

- ・ 集合セミナー（オンライン）
- ・ 情報発信（メールマガジン）
- ・ 動画、eラーニング など

ここを
明確に

(2) 効果測定の実態と効果測定を行う意義について

①効果測定の実態について（2020年度決算 連合会DC実態調査より）

- ・ 投資教育を実施している企業のうち、効果測定をした企業 **46.4%**
- ・ 効果測定した企業のうち、**約75%**の企業が効果があったと回答

②なぜ効果測定を行うのか...

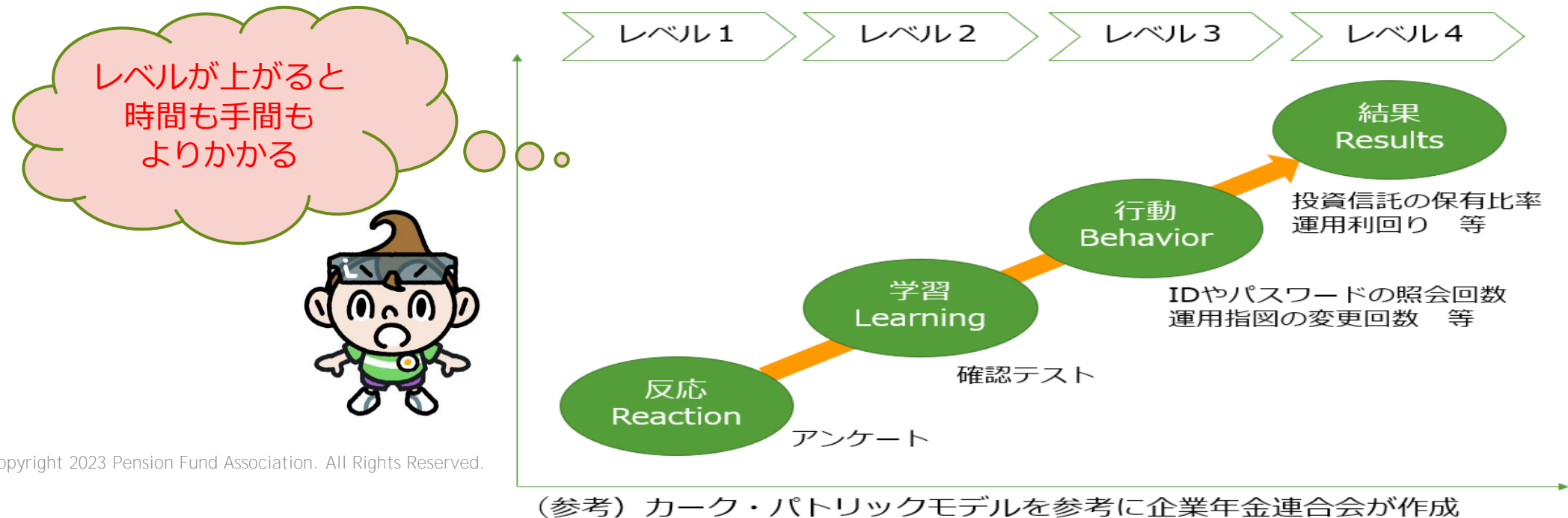
- ・ **投資教育実施の目的を明確にした上で、その目的が達成されたか、またどの程度達成されたかのデータを取り、課題を見つけ出した上で、今後の投資教育の改善につなげる**こと。

（投資教育の目的が明確になってないと効果測定の結果も不明確なものに）

投資教育の効果測定 (2)

(1) 効果測定の方法 (4段階によるチェック方法)

- ・教育効果測定の一般的なモデルである「カーク・パトリックモデル」を、投資教育にあてはめて考えてみる。
- ・レベル1からレベル4に向かうほど測定の難易度が高くなる。(次の①～④は具体的な方法)
 - ①レベル1 (反応) ...実施直後のアンケートにより参加者の反応をみてる。
 - ②レベル2 (学習) ...確認テスト等により参加者の理解度を測定する。
 - ③レベル3 (行動) ...習得した知識を基に実際に行動に移すことができたかどうか測定する。
 - ④レベル4 (結果) ...レベル3の行動によりどのような結果に結びついたか確認する。



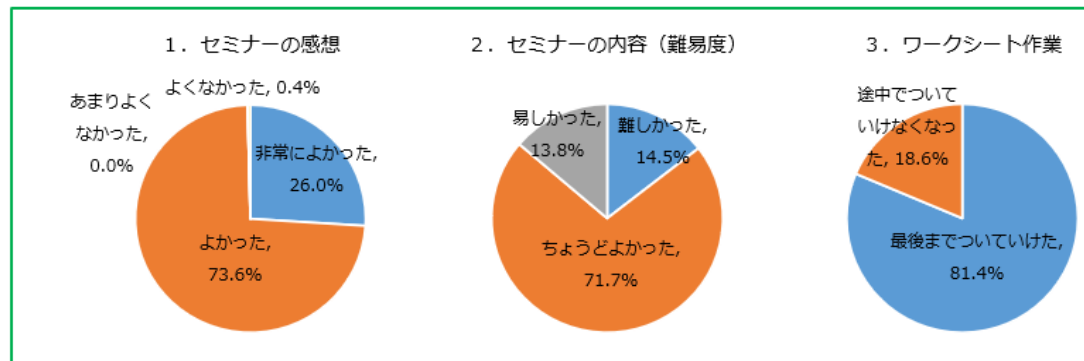
連合会投資教育から効果測定を考えてみる（1）

(1) 企業型DC加入者向け ライブ配信セミナー…契約している企業向けの「報告書」から

- ・ 連合会の投資教育（ライブ配信セミナー）の効果測定は、P6の「位置づけ」にあるとおり、「制度（会社）の異なる加入者に対し、共通の投資教育を行う共同で実施」することから、『レベル1』の実施後のアンケートにより測定することになる。

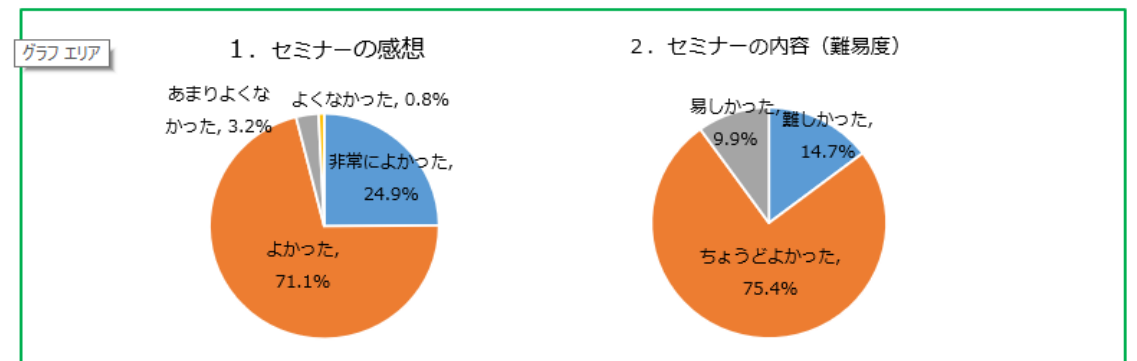
①40歳代までの方向け

○ アンケート結果（全4回分を集計）



②50歳代以上の方向け

○ アンケート結果（2月15日開催を除く3回分を集計）



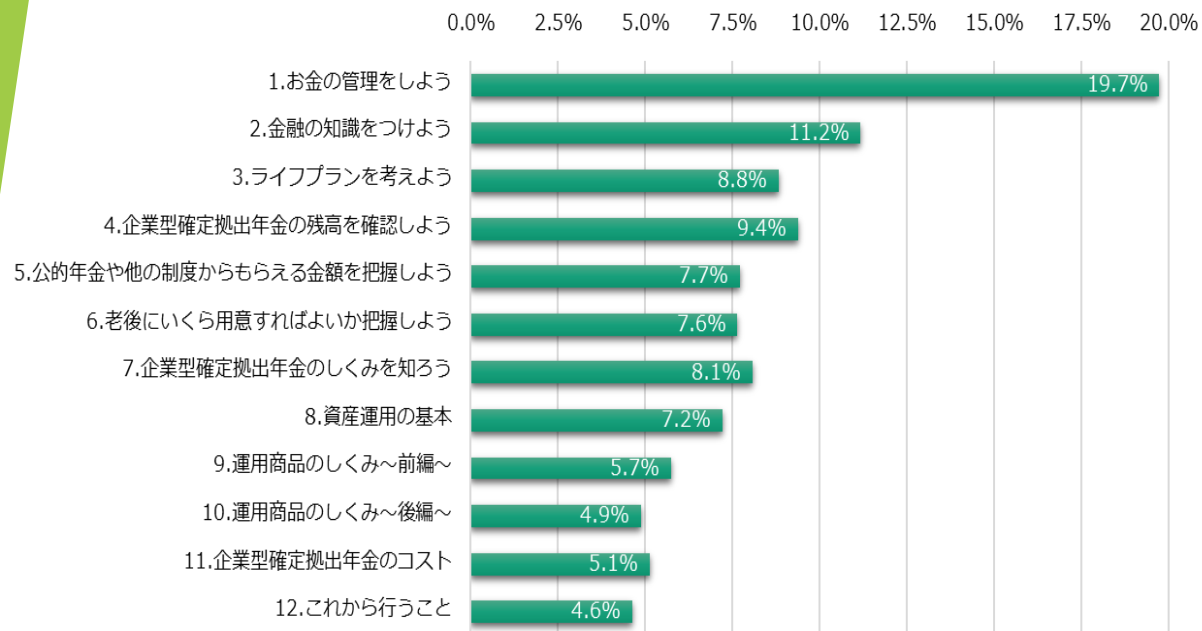
- ・ アンケート結果からは参加者には概ねご満足いただけたと認識している。
- ・ 基本的な事項を学んでもらうという連合会投資教育の目的を基に実施しているが、難易度も「ちょうどよかった」が大半である。
- ・ その他、自由記入欄では、「会社で選択が可能な商品の具体的な説明をしてほしい」や、「自社の場合はどうなのか」など、制度（会社）ごとに異なる内容についての要望が見うけられた。
- ・ 自社の退職金制度など具体的な事項について、事業主からのフォローが必要と考える。

連合会投資教育から効果測定を考えてみる (2)

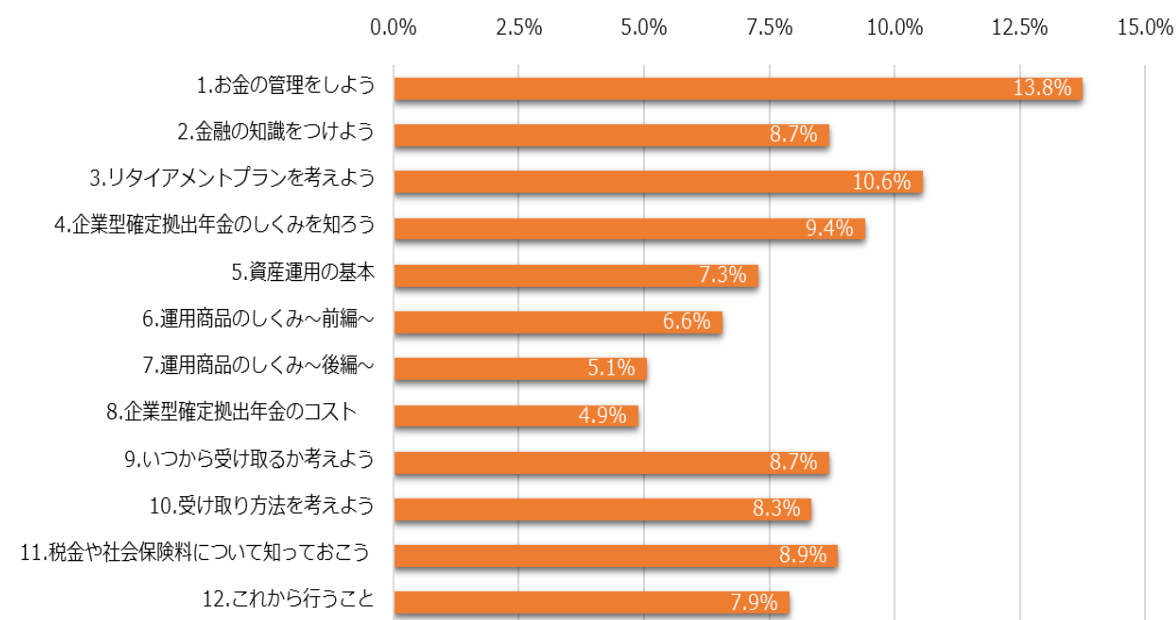
(2) 企業型DC加入者向け eラーニング…契約している企業向けの「報告書」から

(令和4年4月～12月までの全視聴におけるテーマごとの視聴割合)

①40歳代までの方向け



②50歳代以上の方向け



- ・ eラーニングについては、契約している会社に教育コンテンツを提供している形態のため、アンケートやテストは連合会で実施していない。
- ・ 契約している会社全体の視聴傾向について、「40歳代までの方向け」は最初のテーマから順に視聴していることが見受けられ、段々と視聴割合が低下している。
- ・ 一方、「50歳代以上の方向け」は、受け取り時期が近いこともあり、受け取りに関係するテーマを選んで見ている。
- ・ 「報告書」では、「40歳代までの方向け」について、加入者自身が関心のあるテーマの視聴を案内していただくよう記載した。

連合会投資教育から効果測定を考えてみる (3)

(3) iDeCo加入者等向け eラーニング (テスト)

- ・ iDeCo加入者等向けeラーニングでは、「金融の知識をつけよう」、「資産運用の基本」、「これから行うこと」の3つの章において、計6問の確認テストを実施できるようにしている。
- ・ 各設問と回答の選択肢は左下、テスト結果は右下の通り。全体的に「金融の知識をつけよう」の習熟度が足りないと認識。

【金融の知識をつけよう】

1. **複利計算の理解** 100万円の現金を1年満期の銀行預金（年利子率2%）に預けて、5年間、同条件で更新しながら運用したら、5年後にはいくら受け取れますか（税金はゼロと考えて下さい）。
 - ・ 110万円より多い
 - ・ ちょうど110万円
 - ・ 110万円より少ない
 - ・ わからない
2. **インフレの理解** インフレ率が年率5%であり、銀行預金の年利子率が3%であるとします。1年間、銀行予定をしておくとして、1年後に預金で買える商品やサービスの量は一般的にどうなりますか。
 - ・ 減少する
 - ・ 変わらない
 - ・ 増加する
 - ・ わからない

【資産運用の基本】

1. **長期・積立・分散投資の考え方** iDeCoでは、安定的に資産を増やすための基本である「長期投資」「積立投資」「分散投資」の3つが実現可能です。さて、このうち、自分で意識して行う必要があるものはどれですか。
 - ・ 長期投資
 - ・ 積立投資
 - ・ 分散投資
 - ・ わからない
2. **分散投資の理解** 一般的に、1社の株式を購入する方が、株式投資信託（多くの会社の株式に投資）をするよりも、投資収益は安定しますか。
 - ・ そう思う
 - ・ そう思わない
 - ・ わからない

【これから行うこと】

1. **資産配分を考えたときのポイント** iDeCoの資産配分を考えたときに留意すべき点として、誤っているものはどれですか。（誤っているものを選択）
 - ・ 他人の成功事例をそのまま取り入れてみる
 - ・ 運用商品を選択するのは、資産配分をきめてからにする
 - ・ iDeCoだけでなく、自分のもっているその他の預貯金などの金融資産も含めて、資産全体で考える
 - ・ わからない
2. **運用方法を変更する方法** 「Plan」で考えた資産配分を「Do」で実行に移すとき、「資産配分の変更」と「スイッチング（預け替え）」という2つの方法があります。すでに預け入れている商品売って、他の商品を買う方法はどちらですか。
 - ・ 資産配分の変更
 - ・ スwitching（預け替え）
 - ・ わからない

【令和4年4月～9月のテスト結果集計】

パート タイトル	設問タイトル	正答率		
		40歳代まで	50歳代以上	加入前
金融の知識 をつけ よう	複利計算の理解	61.1%	61.0%	—
	インフレの理解	76.7%	79.7%	—
資産運用 の基本	長期・積立・分散投資の考え方	81.8%	86.3%	77.1%
	分散投資の理解	92.7%	89.0%	91.7%
これから 行うこと	資産配分を考えたときのポイント	69.6%	70.9%	—
	運用方法を変更する方法	95.7%	94.5%	—

3. 今後のサービスのご紹介（令和5年度）



令和5年度のライブ配信セミナーについて（予定）

(1) 企業型加入者向け

40歳代までの方向け

開催日	時間	申込〆切
2023年5月24日（水）	15時～16時	2023年5月17日（水）
7月19日（水）	15時～16時	7月12日（水）
10月25日（水）	15時～16時	10月18日（水）
2024年1月19日（金）	15時～16時	2024年1月12日（金）

50歳代以上の方向け

開催日	時間	申込〆切
2023年6月22日（木）	15時～16時	2023年6月15日（木）
9月15日（金）	15時～16時	9月8日（金）
12月19日（火）	15時～16時	12月12日（火）
2024年2月16日（金）	15時～16時	2024年2月9日（金）

(2) iDeCo加入者等向け

- ・合計3回の開催を予定
- ・開催の都度、「動画で学ぶiDeCo特設サイト」でお知らせする予定

ご視聴にあたって

- ライブ配信セミナーは、「Cisco Webex」を利用して開催します。
- ご参加にはパソコン、スマートフォン又はタブレット（スマートフォン又はタブレットで視聴する場合、事前にアプリのインストールを行ってください）が必要です。
- インターネットブラウザは Microsoft Edge又はGoogle Chrome の利用を推奨します。
- 上記日時は諸事情により変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※いずれも申込者には、当日参加できなかった方のため、見逃し配信を行う予定

